



たった一度の歌

高崎映画祭特別招待作品

高橋和也 岡田浩暉

UEBO 蔵下穂波 田嶋高志 須藤叶希

清水章吾 (特別出演) 小林綾子

劇中歌：川江美奈子「永遠の川」 中西圭三「LIFE」

監督・脚本：宮武由衣

人生の後半戦
夢よ、変わらずここにあれ

企画：影の国本庄拠点フィルムコミッション エグゼクティブプロデューサー：岡田隆行 川上芳男 志村 茂 佐々木輝伸 蓮沼康永 プロデューサー：松井和彦
 アソシエイトプロデューサー：相川一浦 中村修也 中山由紀子 ラインプロデューサー：榎野 亮 音楽：小林洋平 撮影：猪本雅三(J.S.C.) 照明：安部 力 美術：和田 洋
 録音：坂上賢治 編集：蛭田智子 助監督：小原直樹 キャスティング：西川文郎 装飾：松本吉正 ヘアメイク：及川奈緒美 衣裳：加藤みゆき 制作デスク：朝島由恵 制作担当：中村 元
 特別協賛：株式会社エム・テック 新日本ビルサービス株式会社 狩野輝昭 川上美恵 吉田宏智 吉田充子
 協賛：ケイアイスター不動産株式会社 柿木石材(代表 柿木左近) 北関東ペブシコーラ販売株式会社 高橋農園 ネットトヨタ東埼玉株式会社
 ポーラ本庄・ポーラウニクス上里 本庄商工会議所 調味輝一クローンヌナチュレ ほか
 製作：映画「たった一度の歌」製作委員会(影の国本庄拠点フィルムコミッション NPO法人 影の国地域活性化協議会 株式会社岡田工機製作所 株式会社ウニクス 株式会社ビーアンドディコンサルティング)
 制作プロダクション：TBSビジョン 2018年/日本/ビスタ/カラー/DCP/104分 ©2018映画「たった一度の歌」製作委員会



『4人の視点』で描くある1日。
その度に、見える世界は『3回覆る』。
“まち”が織りなす夢と挫折と再生の物語。

Introduction

ままならない人生に抗うことも諦めた日常、とうの昔に封印した夢、いにしへの友情への戸惑い、時を経ても消せない怒り、誰かを心から応援したいと思う気持ち。4者4様の感情が、ラストシーンに向けてひとつになり高まってゆく。ミュージカルでもバンド映画でもない、新しい『歌う』映画が誕生した。

映画を彩る劇中歌は中西圭三・川江美奈子ら本格的アーティストが手がける。高橋和也、岡田浩暉らによるライブシーンは、圧巻。ラスト20分、世紀の茶番劇に魂が震える。

Story

市役所に勤める肇(岡田浩暉)は、桜祭りの準備に忙しい。この町出身の大物歌手・後藤田(高橋和也2役)を迎えて、地元の農業青年合唱団とのジョイントライブがあるのだ。そんな折、30年以上会っていなかった親友・紀彦(高橋和也2役)が突然現れる。紀彦は今、後藤田のモノマネ歌手として細々と生活している。この二人の再会は、旧交を温める暇もなく、翌日の桜祭りへと運命的に巻き込まれていく。

紀彦はなぜ突然故郷に帰ってきたのか？

謎の大物歌手・後藤田とは本当は何者か？

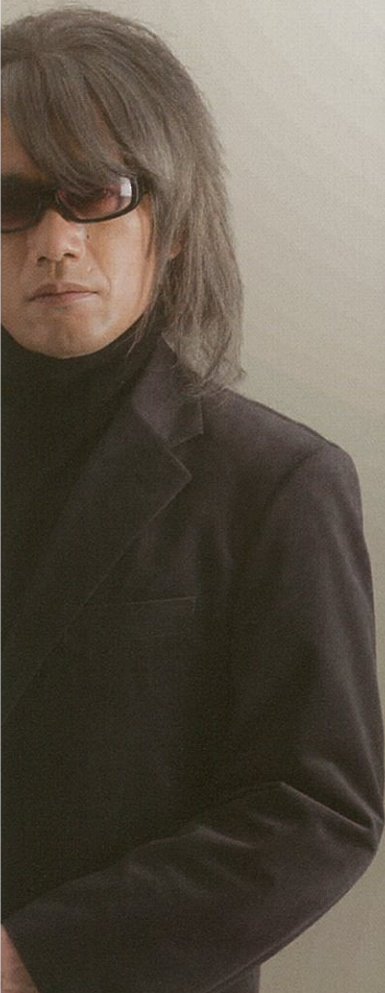
それぞれの思いが時を超えて絡み合い、ひとつのステージに引き寄せられていく。ついに、波乱と奇跡のライブが幕を開ける。

舞台となった埼玉県本庄市

埼玉県北部にある本庄市を中心とした神川町・美里町・上里町は、浅間山や赤城山を臨む美しい田園風景の広がる地域。

誰もが郷愁を感じるこの町も抱える問題は全国の地方と同じ。

地域の手によって作られたこの映画は、自分にとっての故郷や夢とは何かに思いを馳せる映画でもある。



2018年6月22日(金)ロードショー

「世紀の茶番劇」の幕が開く！

ユナイテッド・シネマ ウニクス上里
0570-783-150

ユナイテッド・シネマ ウニクス南古谷
0570-783-190

ユナイテッド・シネマ アシコタウンあしかが
0570-073-828